

## 農業高校における緑化推進・自然保護活動等による地球温暖化防止の啓発

静岡県立磐田農業高等学校

【住所】〒438-0078 静岡県磐田市中泉168 【TEL】0538-32-2161

【URL】<http://www.edu.pref.shizuoka.jp/iwata-ah/home.nsf/IndexFormView?OpenView>

活動概要

緩和・適応分野

### 取組の概要

農業高校における緑化活動推進(環境学習への取組)・地域貢献(バラ園開放・草花販売・住民交流)・自然保護活動(演習林管理)等による地球温暖化防止の啓発を長年にわたり継続実践。更に、県と協働して県内高校初の『ふじのくに生物多様性地域戦略推進パートナー』委嘱を受け、「絶滅危惧高山植物の種子増殖プロジェクト」などにも積極的に取り組む。

### 気候変動対策としての貢献度

#### 【絶滅危惧高山植物プロジェクト】

絶滅危惧植物「タカネマンテマ」の種子増殖に挑戦し、鉢上げ後の順化まで成功。自然復元のための第一歩を踏み出す。

#### 【校内古墳を活用した緑化】

大気浄化植樹マニュアルに基づき古墳のCO<sub>2</sub>吸収量を試算。年間約361人分(130,236kg/年)、創立以来127年間に45,847人分のCO<sub>2</sub>を吸収。

#### 【演習林における保護活動】

114年間にわたる新入生行事。これまで20,817人の同窓生が持続可能な森林づくり(<51ha>)に参加。

### 期待される波及効果

令和2年度より始まった絶滅危惧高山植物種子増殖プロジェクトは、県内農業高校にも波及。若い世代に高山植物を通じた自然保護活動への啓発が期待される。

また、農業高校における緑化推進・地域貢献・自然保護活動等は、地域住民・企業・行政等、幅広い年代や団体に対する緑化や環境問題啓発の源となっている。「継続は力なり」を信条に、地域における地球温暖化防止を推進する中核的存在として期待されている。

### 刷新的要素

#### 【絶滅危惧高山植物プロジェクト】

手付かずの自然が残る南アルプスは、静岡県にとって大切な自然環境資源である。その安定的保全のためにも、環境指標植物となる高山植物の保護活動は重要である。

本活動では、県行政と高校生が積極的に協働することにより、若い世代の環境活動・温暖化防止への意識高揚と波及効果を実践。また、実験室内で終わりがちなバイオ学習に、実践現場のフィールドを与え学習の深化に繋げている。

### 今後の計画、持続的な展開の展望

本校の環境活動標語『127年間ずっとSDGs』が示すように、農業高校の教育活動そのものが、環境緑化推進・地域貢献・自然環境保護活動であり、幾星霜を経て今日に至る先人から引き継がれてきた活動そのものである。今後も、地域と共に地球温暖化啓発活動を継続し、農業高校がその中核的な存在を担い、生徒と共に推進役を果たして行きたい。



絶滅危惧高山植物種子増殖プロジェクト(角囲み:タカネマンテマ)



校内古墳「澄水山におけるCO<sub>2</sub>吸収量調査」